

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	3702	領域略称名	温度生物学
研究領域名	温度を基軸とした生命現象の統合的理解		
領域代表者名 (所属等)	富永 真琴 (大学共同利用機関法人自然科学研究機構・生命創成探究センター・教授)		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域では、温度を基軸とした生命現象の統合的理解を目指す新たな研究分野「温度生物学」の創出に向けた研究が行われた。「温度センシング」と「温度応答システム」の二つの項目より成る研究体制が組織され、領域代表者のリーダーシップの下、いずれの項目においても個々の研究が飛躍的に進んだ。更に、有機的な連携体制の促進が図られ、共同研究が効率的に進められる組織運営がなされた結果、計画研究組織と公募研究組織による異分野融合研究が多数の論文成果に結実した。特に、温度という未開拓の生物学的標的を指向した新たな研究分野を立ち上げ、国際的に認知、評価されるまで発展させたことは高く評価できる。また、関連学会での積極的な成果発信を通じて、幅広い学問分野にインパクトを与えた点や、若手研究者の育成にも注力し、「温度生物学」を担う次世代の人的基盤が構築された点も評価に値する。

全体を通して、初期の目標が十分に達成されたとともに、国際的に認知・評価される新たな学術分野を生み出すという期待以上の進展があった。本研究領域から生み出された「温度生物学」自体は、まだ揺籃期にある研究分野である。領域終了後の継続的な発展により、個体レベルのメカニズム解明や医療分野への応用を期待する。